

ソフトテニスの  
全国大会出場へ

下松のジュニアクラブ



全国大会に出場する選手ら

8月4日から京都府福知山市で開催される全日本小学生ソフトテニス大会に出場する「下松ジュニアソフトテニスクラブ」の選手らが28日、下松市役所を訪れ、井川成正市長に出場を報告した。

選手権は全国47都道府県の代表が集う小学生ソフトテニス大会の最高峰。同クラブは6月に周南市で開催された県大会で、男子3組、女子2組がベスト4入りし、この5組が県代表の座を勝ち取った。

この日は県大会男子の部

全日本小学生ソフトテニス選手権  
下松ジュニアが出場

京都で来月



井川市長(手前左)から激励を受ける下松ジュニアソフトテニスクラブのメンバー

下松ジュニアソフトが、8月4〜7日に京ス選手権に出場する。テニスクラブ(下松市)都府福知山市である全に所属する児童10人 日本小学生ソフトテニ

県からは、6月に周南市内であった県予選で男女とも4位までに入ったペアが出場する。同クラブは男子3組、女子2組が全国への切符を手にした。個人戦と、県チームとして戦う団体戦に出場する。

井川市長は「正々堂々、練習の成果を發揮してください」と激励。主将で久保小6年の兼森富久斗君(11)は「悔いの残らないプレーをしたい」と力を込めた。

(上木崇達)

で優勝した花岡小6年、藤井悠貴君(12)と久保小6年、兼森富久斗君(11)のペアら、県代表10人が市長室を訪ね、井川市長は「全国大会でも練習の成果を

発揮し、根性を持って頑張ってください」と激励した。兼森君は「しっかり声を出して悔いのない試合をしたい」と意気込んでいた。

全日本小学生ソフトテニス出場

下松ジュニア健闘誓う

市長を表敬



下松市役所を表敬訪問した全国大会へ出場する下松ジュニアソフトテニスクラブの選手と監督

第28回全日本小学生ソフトテニス選手権大会(8月4〜7日、京都府福知山市)に出場する下松市の下松ジュニアソフトテニスクラブの選手10人が28日、下松市

役所を訪れ、井川成正市長に健闘を誓った。

出場選手は、男子の藤井悠貴君(12)と花岡小6年、と兼森富久斗君(11)と久保小6年、松本栄士君(9)と

下松小3年と中川健太君(11)と下松小5年、佐々木健将君(11)と公集小6年と

後藤準弥君(11)と久保小6年、女子の栞田いのりさん(11)と中村小6年と吉長美保さん(11)と公集小6

年、川口みゆきさん(10)と中村小5年と川口あゆみさん(12)と中村小6年の5組。

6月4日、周南市のキリンバレー周南庭球場で開催された県予選大会で勝ち抜き、出場枠を獲得した。県代表8組のうち同クラブが5組を占める。

選手と同クラブの原田正剛会長、水本隆之監督らが訪問。井川市長が一日し

の練習の成果を全国大会で発揮してほしい。相手にのまねず正々堂々と戦って」と激励すると、選手を代表して兼森君が「最後の全国大会なので、声を大きく出して悔いのないよう頑張りたい」と決意を述べた。

トテニスクラブの小学生10人が28日、下松市の井川成正市長を訪ね、健闘を誓った。写真。

6月に周南市であった県大会で優勝した藤井悠貴君(花岡小6年)、兼森富久斗君(久保小6年)ペアら男女計5ペア10人。全国大会に出場する県代表8ペアのうち、同クラブが5ペアを占めたという。

井川市長は「下松から来た選手として練習の成果を十分発揮して下さい」と激励。兼森君は「悔いのないプレーを心がけたい」と抱負を述べた。(奥正光)

ソフトテニス 全国大会へ

下松の小学生10人、健闘誓う



8月4日から京都府福知山市で始まる全日本小学生ソフトテニス選手権大会に出場する下松ジュニアソフト

テニス選手権大会に出場する下松ジュニアソフト